



ねぶたフェスティバル



竹富町物産即売会



弘前市物産展



7月4日(日)に行われたウトロ運行



2日目の18日(土)は、あいにくの雨天予報でねぶた運行が危ぶまれましたが、浴衣や法被に身を包んだ参加者の皆さんは雨をものともせず準備万端。響き渡るねぶた囃子と威勢のよい掛け声に包まれながら、大人から子どもまで多くの町民が心を一つにし、斜里の夏を熱く彩りました。7月4日(土)に行われたウトロ運行とあわせて、町内各地でねぶたの熱気に包まれる夏となりました。



しれとこ 斜里ねぶた

—— 開催レポート ——



ねぶたフェスティバル

今年もやってきた！
斜里の熱い夏

斜里町の夏を彩る「しれとこ斜里ねぶた」を7月17日(金)と18日(土)の2日間に行われ開催し、多くの来場者でにぎわいました。開幕に先立つ16日(木)には、友好都市・弘前市の谷川市長をはじめとする皆さんが来町し、弘前市物産展がスタート。会場には多くの人が訪れました。

ねぶた運行の初日である17日(金)は、参加者の皆さんが威勢よく「ヤーヤドー」の掛け声を響かせながら出陣。色鮮やかなねぶたが町内を運行し、沿道を埋めた観客を魅了しました。

18日(土)には、ねぶたフェスティバルを開催。各団体によるねぶた囃子が披露され、最後には合同演奏が行われるなど、迫力ある音色が会場を包みました。また、姉妹町・竹富町の前泊町長をはじめとする皆さんを迎え、竹富町物産即売会を行いました。パインやマンゴーの販売には長い列ができ、空模様心配される中でも大盛況となりました。



ねぶた本体を
保管庫から運び出し。

ねぶた絵を、
本体の骨組みに貼りつけ。

ねぶたの準備が 進む時間



きれいな音を響かせるための、
太鼓の縄締め。

ねぶたの原点に向き合う時間

しれとこ斜里ねぶたの運行の前に、津軽藩士殉難慰霊祭が行われました。慰霊祭には弘前市長をはじめ関係者が参列し、献花を行いました。会場にはまとい振りの掛け声やねぶた囃子が響き、津軽藩士の御霊に祈りを捧げました。

その背景には、ねぶたへとつながる歴史があります。1807年から翌年にかけて、斜里の警備を命じられた津軽藩士 100 名のうち 72 名が、栄養不足などにより斜里で命を落としました。1973 年に慰霊碑が建立され、斜里町では慰霊が続けられています。慰霊をきっかけとした弘前市とのつながりが、友好都市盟約の締結からしれとこ斜里ねぶたへ。祭りのにぎわいの中にも、歴史と祈りを大切に作る時間があります。



ねぶたでつながる時間

町内のねぶた団体が、高齢者施設や保育園を訪れ、ねぶた囃子を披露しました。手拍子や「ヤーヤドー！」の掛け声で応える皆さん。演奏する子どもたちと利用者が握手を交わす場面もありました。ねぶたの音色を通して、世代を越えた笑顔と交流が生まれています。



お囃子隊も
たくさん元気を
もらいました！

これからも続く、 ねぶた時間

ねぶたの時間をのぞいてみてわかったのは、たくさんの人と関わりながら、しれとこ斜里ねぶたが続いていること。運行の前から始まる、さまざまな「ねぶた時間」に、来年は少し目を向けてみませんか。

町の Instagram でも「しれとこ斜里ねぶたに向けて」と題し、そんな日々の様子をシリーズで紹介しています。ぜひのぞいてみてください。



町の Instagram は
こちら

しれとこ斜里ねぶたは、運行当日だけのものじゃない。

お囃子を練習したり、ねぶた絵を描いたり、絵を貼ったり。誰かが誰かに教え、誰かがねぶたをつくり、誰かのもとへ届ける——。運行の 1 か月以上前から、町のあちこちでねぶたの時間が始まっていました。

知っているようで、まだ知らない。
そんな、しれとこ斜里ねぶたの姿をのぞいてみます。



ねぶたに向かう、 人から人へ伝える時間

6 月、町内の小学校ではねぶた囃子の練習が始まります。ねぶた保存会やヤーヤ・ドーする会のメンバーから、先生や子どもたち、町内のねぶた団体のメンバーへ、基本的な楽器の扱い方や演奏のコツなどが伝えられます。上級生が下級生に教えたり、休み時間や放課後に練習したりする子どもたちの姿も。ねぶた絵づくりでも、経験のある子が仲間を手助けする場面がありました。

さまざまな人が関わり、教え、教わりながら、ねぶたの技術や思いが町の中に広がっています。



先生も練習中！



大人も子どもも、
一緒にお囃子を学びます。



中学生が
太鼓台車の 1 枚を
ひとりで
描き上げました！



しゃりアートクラブの
中学生が、
ねぶたの顔、
鏡絵に挑戦！

ねぶた保存会の方から、
ねぶた絵の描き方を
教わる小学生。



あなたの知らない、
しれとこ斜里ねぶた

町をめぐる、ねぶた時間